

令和
4年度

主な事業と予算の概要 戸田市の“今”が分かります。



本年度、市が重点的に取り組む事業について3つの柱を掲げました。
この3つの柱を連動させることで、より効果的に事業を進めていきます。

1 ポストコロナ

～感染症への不断の対策と
社会変化への対応～

- 支援が必要な人々に安全・安心を届ける取り組みの推進
- ウィズコロナの日常を実現する施策の推進
- 健康でいられる社会の実現に向けた市民サービスの拡充

2 デジタル化

～人にやさしい
デジタル化～

- DX*を活用した窓口業務などの利便性向上
* デジタルトランスフォーメーション=デジタル技術を活用し人々の生活をよりよいものへと変革させること
- ニーズに合わせたデジタル施策の推進
- 新たな視点などを取り入れた業務の推進

3 SDGs推進

～誰一人取り残さない
社会の実現～

- 弱い立場の人たちを守る取り組みの実施
- 脱炭素社会の実現に向けた施策の推進
- 地域課題の解決に取り組む市民活動の推進

1 ポストコロナ

コロナ・アフターケア 外来の設置

4月から、市民医療センターに「コロナ・アフターケア」外来を設置します。



期待される効果

- ▶ 市民の安全・安心の確保
- ▶ 今後の流行などに備えた市内医療体制の整備



健康に対する意識の向上

「埼玉県コバトン健康マイレージ」などを活用し、コロナ禍における効果的な健康づくりを推進します。

期待される効果

- ▶ 健康に対する意識の向上
- ▶ 運動習慣の確立



サイクルシティの推進

シェアサイクルの充実やサイクルツーリズムの促進を通じた自転車によるまちづくりを推進します。

期待される効果

- ▶ 移動手段の分散化による感染症対策の実現
- ▶ シェアサイクル×サイクルツーリズムの相乗効果による地域活性化



2 デジタル化

支払い事務の非接触化の実現

庁舎窓口における手数料などの支払い手段にQRコードなどのキャッシュレス決済を新たに導入します。

期待される効果

- ▶ 決済手法の多様化による利便性向上
- ▶ 非接触による感染症対策の実現

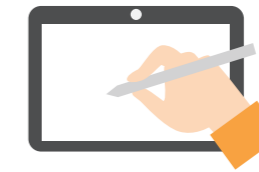


特別支援教育に係るデジタル化の推進

エビデンスに基づく「読み」に関する指導・支援を充実させるため、多層指導モデルMIMのデジタル版の利用を開始します。

期待される効果

- ▶ ICTの活用により、配慮が必要な児童への学びやすい指導・支援の実施
- ▶ デジタル化による教員の負担軽減



まちづくりのDX化

建物などを3次元化した「3D都市モデル」を整備し、災害リスクを把握するなど防災施策などに活用するデジタル基盤を構築します。



期待される効果

- ▶ 都市情報の立体的な可視化に伴う各種まちづくり計画などへの活用
- ▶ 浸水想定データなどの活用による災害リスク情報の可視化

3 SDGs推進

戸田市SDGs共創基金の 設置

SDGsの目標「パートナーシップで目標を達成」するため、「戸田市SDGs共創基金」を設置します。



期待される効果

- ▶ 市民などへのSDGsの理解促進
- ▶ 基金の活用による社会・経済・環境に関する地域課題の解決

保育所などでの 医療的ケア児への支援

保育所などにおいて日常生活などに支援が必要とされる医療的ケア児の受け入れを開始します。



期待される効果

- ▶ 医療的ケア児の健やかな成長
- ▶ 医療的ケア児を育てる家族の離職防止

戸田型オルタナティブ・プランの実施

不登校傾向にある児童生徒をサポートするため「戸田型オルタナティブ・プラン」を実施します。

期待される効果

- ▶ 不登校傾向の児童生徒への早期支援
- ▶ 不登校を未然に防ぐためのデータに基づく支援の実現

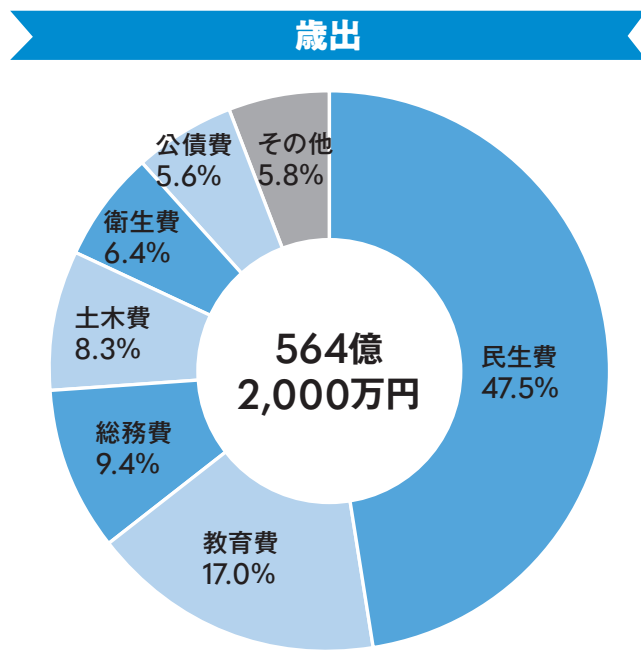
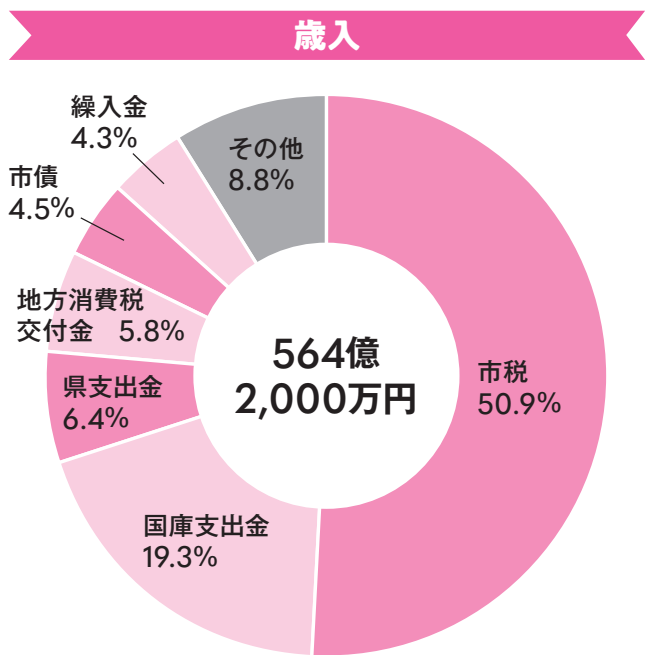


令和4年度の一般会計は564億2,000万円で、前年度と比較して19億9,400万円の増額となりました。この増加は、新首小学校や戸田第一小学校の改築工事などに対応するための経費などです。

また、特別会計は、介護保険や後期高齢者医療については増となったものの、新首第一土地区画整理事業や市民医療センターが減となったことにより、特別会計全体では14億9,523万1千円の減額となっています。

これらに、水道・下水道事業会計を加えると、全会計合計で1億2,352万3千円の減額となっています。

一般会計予算 歳入・歳出構成



特別会計予算

国民健康保険	108億4,346万1千円
市民医療センター	8億4,856万7千円
交通災害共済事業	495万3千円
海外留学奨学事業	1,412万7千円
火災共済事業	283万9千円
新首第一土地区画整理事業	9億5,658万1千円
介護保険	79億9,731万8千円
新首第二土地区画整理事業	5億1,802万7千円
後期高齢者医療	14億6,167万4千円
在宅介護支援事業	9,430万3千円
特別会計合計	227億4,185万0千円

令和4年度 戸田市水道・下水道事業会計予算

水道事業 収益的収支		下水道事業 収益的収支	
区分	令和4年度予算額	区分	令和4年度予算額
収入	26億5,106万8千円	収入	28億2,301万6千円
支出	25億7,939万2千円	支出	26億5,607万7千円

水道事業 資本的収支	
区分	令和4年度予算額
収入	3億389万3千円
支出	9億5,887万円
資本的収支不足額(収入-支出)**	△6億5,497万7千円

下水道事業 資本的収支	
区分	令和4年度予算額
収入	17億7,873万5千円
支出	23億8,694万5千円
資本的収支不足額(収入-支出)**	△6億821万円

**不足額は当年度分損益勘定留保資金などから補てんします

問い合わせ 水安全部総務課 229-4606